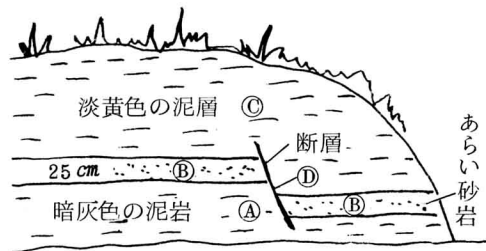


- ① 一つの崖で地層の重なりや、地層のずれ方などをスケッチする。
- ② 地層の色や特徴があったら、スケッチの中書き入れる。
- (3) 崖に近づいて、地層の重なり方や、厚さ、水を含む地層と粒の大きさなどを観察する。



崖で一番目立つ地層をさがそう。この茶褐色の地層にさわってみると、ザラザラした粗い砂岩であることがわかります。



①層と③層をさわってみると、粒の細かい泥岩であることがわかります。

①層は暗灰色で③層と違うように見えるが、③層は雨水などのため鉄分がさびて淡黄色に見えるわけで、けずると中はやはり暗灰色で①層の泥岩と同じであることがわかります。

粗い砂岩層を注意してみると、水分を含んで湿っている。それに対して泥層は乾燥しています。

それで水分を含む地層は、どんな特徴のある地層であるかが考察できます。④層のように途中で切れ、上下にずれているのが観察されます。これを断層と呼んでいます。

- (4) 三方面にグラウンドを囲むように崖が見られる。地層の中で目立つ茶褐色の砂岩を追ってみよう。

コの字型に見られる崖の砂岩層から、この砂岩の広がりを立体的にとらえることができます。

この山は、これらの泥岩や砂岩が重なって、できていることが理解できます。

2. 川原のようすと流水のはたらき

- (1) 調べる場所